

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 28 年 2 月 12 日 (2016.2.12)

【公表番号】特表 2015-508530 (P2015-508530A)  
 【公表日】平成 27 年 3 月 19 日 (2015.3.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-018  
 【出願番号】特願 2014-548998 (P2014-548998)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

H 0 4 M 1/673 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/62 3 9 0

H 0 4 M 1/673

【手続補正書】  
 【提出日】平成 27 年 12 月 15 日 (2015.12.15)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

モバイルデバイスであって、

当該モバイルデバイスがロックされているという指示を含むデバイスロック画面を表示し、

当該モバイルデバイスがロックされている間に、前記デバイスロック画面に対するジェスチャ入力を受け取ったことに応答して、前記デバイスロック画面上に入力される認証情報を必要とせずに、前記デバイスロック画面から共有空間の共有空間ユーザインタフェースに遷移し、当該モバイルデバイスがロックされている間に、前記デバイスロック画面への異なるジェスチャ入力を受け取ったことに応答して、前記デバイスロック画面上に入力される認証情報を必要とせずに、異なる共有空間の異なる共有空間ユーザインタフェースに遷移し、前記デバイスロック画面上の複数の異なる位置でジェスチャ入力を受け取る

ように構成される、ディスプレイデバイスと、

当該モバイルデバイスの制限付き実行モードをアクティブにし、

前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、デバイスコンテンツへのデバイスアプリケーションのアクセスを制限する

ように構成される、制限付き実行サービスを実装する処理システムと

を備える、モバイルデバイス。

【請求項 2】

前記共有空間は、共有デバイスアプリケーションを含み、

前記制限付き実行サービスは、前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、前記デバイスコンテンツへの前記共有デバイスアプリケーションのアクセスを許可するように構成される、請求項 1 に記載のモバイルデバイス。

【請求項 3】

前記デバイスアプリケーションは、前記デバイスコンテンツについての要求により前記共有デバイスアプリケーションを呼び出すように構成され、

前記制限付き実行サービスは、前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、前記共有デバイスアプリケーションを介した前記デバイスコンテンツへの前記デバイスア

アプリケーションのアクセスを制限するように更に構成される、請求項 2 に記載のモバイルデバイス。

【請求項 4】

前記デバイスアプリケーションは、前記デバイスコンテンツについての要求により前記共有デバイスアプリケーションを呼び出すように構成され、前記要求は、前記デバイスアプリケーションが前記共有空間内の前記共有デバイスアプリケーションを介して前記デバイスコンテンツへアクセスすることを許可されていることを示す要求トークンを含み、

前記制限付き実行サービスは、前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、前記要求トークンに基づいて、前記共有デバイスアプリケーションを介した前記デバイスコンテンツへの前記デバイスアプリケーションのアクセスを許可するように更に構成される、請求項 2 に記載のモバイルデバイス。

【請求項 5】

前記デバイスアプリケーションは、前記デバイスコンテンツにアクセスするタスクコールを開始するように構成され、

前記制限付き実行サービスは、前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間は制限されるように指定されている 1 つ又は複数のデバイスアプリケーションタスクに基づいて、前記デバイスコンテンツへの前記アクセスを制限するように構成される、請求項 1 に記載のモバイルデバイス。

【請求項 6】

モバイルデバイスの一体型ディスプレイデバイス上にデバイスロック画面を表示するステップであって、前記デバイスロック画面は、前記モバイルデバイスがロックされているという指示を含む、ステップと、

前記モバイルデバイスがロックされている間に、ユーザが前記デバイスロック画面を第 1 の方向にスワイプするときのジェスチャ入力を受け取ったことに応答して、前記デバイスロック画面上に入力される認証情報を必要とせずに、前記デバイスロック画面の表示から、共有空間の共有空間ユーザインタフェースを表示するように遷移するステップと、

前記モバイルデバイスがロックされている間に、前記デバイスロック画面を第 2 の異なる方向にスワイプするときのジェスチャ入力を受け取ったことに応答して、前記デバイスロック画面上に入力される認証情報を必要とせずに、異なる共有空間の異なる共有空間ユーザインタフェースを表示するように遷移するステップと、

前記モバイルデバイスの制限付き実行モードをアクティブにするステップと、

前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、デバイスコンテンツへのデバイスアプリケーションのアクセスを制限するステップと

を含む、方法。

【請求項 7】

前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、前記共有空間内に含まれる共有デバイスアプリケーションの前記デバイスコンテンツへのアクセスを許可するステップと

前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、前記デバイスアプリケーションが、前記デバイスコンテンツを求める要求により前記共有デバイスアプリケーションを呼び出すとき、前記共有デバイスアプリケーションを介して前記デバイスコンテンツへのアクセスを制限するステップと

を更に含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、前記デバイスアプリケーションがタスクコール内に含んでいる、前記デバイスコンテンツを求める前記共有デバイスアプリケーションに対する要求トークンに基づいて、前記共有デバイスアプリケーションを介した前記デバイスコンテンツへの前記デバイスアプリケーションのアクセスを許可するステップを更に含み、前記要求トークンは、前記デバイスアプリケーションが、前記共有空間内の前記共有デバイスアプリケーションを介した前記デバイスコンテンツへのアクセス

を許可されることを示す、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間は制限されるように指定されている 1 つ又は複数のデバイスアプリケーションタスクに基づいて、前記デバイスコンテンツへの前記アクセスを制限するステップを更に含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

制限付き実行サービスを提供するためのコンピュータプログラムであって、モバイルデバイスによって実行されると、当該モバイルデバイスに、

当該モバイルデバイスがロックされている間に、当該モバイルデバイスがロックされていることを示すデバイスロック画面へのジェスチャ入力又は前記デバイスロック画面に表示されるボタンの選択を受け取ったことに応答して、前記デバイスロック画面上に入力される認証情報を必要とせずに、前記デバイスロック画面から共有空間の共有空間ユーザインタフェースへ遷移させ、当該モバイルデバイスがロックされている間に、前記デバイスロック画面への異なるタイプのジェスチャ入力又は前記デバイスロック画面上に表示される異なるボタンの選択を受け取ったことに応答して、前記デバイスロック画面上に入力される認証情報を必要とせずに、異なる共有空間の異なる共有空間ユーザインタフェースに遷移させ、

当該モバイルデバイスの制限付き実行モードをアクティブにさせ、

前記制限付き実行モードがアクティブ化されている間、デバイスコンテンツへのデバイスアプリケーションのアクセスを制限させる

ように構成される、コンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

あるいは、デバイスアプリケーション 218 は、デバイスコンテンツ 222 の要求を伴う、共有デバイスアプリケーション 220 へのタスクコールを開始することができ、この要求は、デバイスアプリケーションが、共有空間 216 内の共有デバイスアプリケーションを介してデバイスコンテンツにアクセスするのを許可されることを示す要求トークンを含む。制限付き実行サービス 202 は次いで、制限付き実行モードがアクティブ化されている間、要求トークンに基づいて、共有デバイスアプリケーションを介したデバイスコンテンツへのデバイスアプリケーションのアクセスを許可することができる。制限付き実行サービスは、デバイスロック画面に入力された PIN コード又は認証情報に応答して、制限付き実行モードを非アクティブにし、デバイスアプリケーション 218 がデバイスコンテンツ 222 への無制限のアクセスを有する、モバイルデバイスの通常のユーザモードに戻すこともできる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

506 において、デバイスアプリケーションは、該デバイスアプリケーションが共有空間内に共有デバイスアプリケーションとして含まれる場合、制限付き実行モードにおいてデバイスコンテンツへのデバイスアプリケーションのアクセスを許可するようにユーザ指定されていると決定される。あるいは、508 において、デバイスアプリケーションは、該デバイスアプリケーションが共有空間内に含まれる場合であっても、デバイスコンテンツへのアクセスを許可されないように指定されていると決定される。例えばモバイルデバ

イス 100 における制限付き実行サービス 202 は、デバイスアプリケーションが共有空間内で共有デバイスアプリケーションとして含まれる場合、デバイスアプリケーションが、制限付き実行モードにおいてデバイスコンテンツへのデバイスコンテンツアプリケーションアクセスを許可するようにユーザ指定されているかどうかを決定することができる。制限付き実行サービス 202 は、デバイスアプリケーションが共有空間内に含まれている場合であっても、該デバイスアプリケーションはデバイスコンテンツへのアクセスを許可されないように指定されている（例えばプログラムされている）と決定することもある。さらに、このタイプのプログラムされたデバイスアプリケーションは、共有空間内に含まれるようにユーザ指定される資格さえないものとして実装され得ることがある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

ハブオペレーティングシステムサービス 634 は、デバイスの既存のメンバユーザから要求を受信し、これに応答して、ハブオペレーティングシステムサービス 634 及び / 又はハブ管理サービス 614 は、ハブに参加するための招待を、登録サイトへのリンク又は他の登録の指示を含み得る SMS、MMS 又は予想されるメンバのモバイルデバイスに送信されるインスタントメッセージとして通信することができる。ハブオペレーティングシステムサービス 634 及び / 又はハブ管理サービス 614 は、例えば少なくともアカウント識別子（SSO 認証情報のような）を含む、プライベート対話ハブに参加する招待に対する承諾を（例えば登録ウェブサイト経由で）受信し、新たなメンバをハブ管理サービス 614 における既存のハブに関連付ける。新たなメンバのアカウント識別子 620 を含む、更新されたメンバシップ情報は、ハブ管理サービス 614 からプライベート対話ハブ内の他のメンバの他のモバイルデバイスにも伝播され得る。新たなメンバユーザがハブに参加すると、該新たなメンバユーザは、ハブアプリケーション 608 及び / 又はデバイスアプリケーション 636 のいずれかのような、格納済みハブデータ 624 及び格納済みハブメタデータ 626 へのアクセスを提供するように構成された様々なアプリケーションをダウンロード及び / 又はインストールするように促されることがある。ハブアプリケーション 608 は、ユーザが新たなハブを作成し、既存のハブのメンバシップを修正するエントリーポイントとすることもできる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

モバイルデバイスのハブアプリケーション 608 のオペレーティングシステム 632 との統合により、デバイスのユーザは、メッセージ又は更新をハブユーザインタフェース 606 上において、そのメッセージ又は更新に関連付けられるアプリケーションのアプリケーションユーザインタフェース内で見ることができるようになる。例えばハブカレンダーは、モバイルデバイス 602 上のカレンダーアプリケーション（例えばデバイスアプリケーション 636）と統合され、ハブユーザインタフェース 606 内に表示されるカレンダー更新が、ユーザによって選択されて、カレンダーアプリケーションのカレンダーユーザインタフェース内に表示されている更新を開始することができる。あるいは、ユーザは、カレンダーユーザインタフェースを見て、プライベート対話ハブに関連付けられるカレンダーイベントを選択して、ハブのメンバに対するカレンダーイベントを含むハブカレンダーの表示を開始してもよい。別の例として、ハブカレンダーイベントをハブユーザインタフェース内に表示することができ、デバイスのカレンダーアプリケーションは、デバイスのユーザのみがデバイス

カレンダーアプリケーションのユーザインタフェース内のビューへのアクセスを有する任意のプライベートデータカレンダーイベントとともに、ハブカレンダーイベントにアクセスして、ハブカレンダーイベントを表示することができる。ハブアプリケーション 608 及びデバイスアプリケーション 636 は双方とも、同じハブカレンダーイベントデータ（例えばモバイルデバイス上に格納された同じハブデータ 610）を獲得する。2つの異なるユーザインタフェース（例えばハブユーザインタフェースとデバイスアプリケーションユーザインタフェース）は、同じカレンダーイベントデータを表示する。